

傷病者発生

手当に向かう _____ の身の回りに危険がないか？ 手当を進めるのに適当な場所であるか？ 確認を行う。

人が倒れています

_____ の観察

四肢の変形や切断、出血の有無について全身くまなく見る

危険なし
全身の観察

声をかける、肩をたたくことで、反応があるのかを確認する

大出血等なし
_____ の確認

これから先の手当てについて、多くの人の協力が必要になる

もしも、大丈夫ですか？
×3回。反応なし
誰かきてください

胸、腹あたりの動きを上から見て普段通りの呼吸かを確認する。呼吸の有無がよくわからない、普段通りではなければ、直ちに次のステップへ。

あなたは、_____ 番通報をお願いします
あなたは、_____ を持ってきてください

溺水の場合には、気道確保の上、まず _____ 2回を行う。胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す。

呼吸の確認
_____ の呼吸なし

胸骨圧迫 _____ 回：人工呼吸 _____ 回を繰り返す

AED到着

(ペアの人) AEDを持ってきました

_____ を代わってください

はい

まず、AEDの電源が入る状態にする。AEDは電源が入れば、手順を説明する音声ガイダンスが流れる。次に着用している衣服を脱がせる。AEDのパッドが貼れる状態であるか、胸に水、汗、砂、汚れ、ネックレス、心臓ペースメーカーなどがあれば、拭く、外す、避ける。

衣服を取り除きます
心肺蘇生は継続してください

(胸の状態)よし

心臓が「電気ショックを必要としているかを解析する」ときと、「電気ショックを与える」ときは、救助者も含め誰も傷病者に接していないようにする。AEDはあくまでも心細動を電気ショックによって取り除ききっかけを与えるものであり、心肺蘇生自体は救助者が継続する必要がある。

心肺蘇生を中断してください
みんな離れてください

みんな離れてください

ボタンを押します

心肺蘇生を継続します

胸骨圧迫 30回：人工呼吸 2回を繰り返す

2分後(心肺蘇生を5セット繰り返したころ)にAEDは再び心臓の状態を解析する。心肺蘇生の交代が可能であれば、効果的な継続のために救助者の交代をする。

救急隊への引継ぎ
傷病者発生事象の引継ぎ

